

Information

研究用検査

冬季下痢症ウイルスを一網打尽

検査項目名：ノロウイルスRNAマルチ (依頼コードNo.375)

ここ数年、毎年冬季にノロウイルスによるウイルス性胃腸炎(嘔吐・下痢症)が全国的に多発していますが、発生頻度は低いものの、下記に挙げたその他のウイルスでも類似の症状を示します。本検査は、ノロウイルスに加え乳幼児のウイルス性胃腸炎の原因として知られているロタウイルスA群、ロタウイルスC群、アデノウイルス40/41型、アストロウイルスの4種を高感度に同時測定致します。

ノロウイルス	汚染された食物(生カキ、サラダなど)、飲料水などを介して感染し、学童、成人、老人施設に集団発生し易い。毎年乳児以上のウイルス性下痢症の大多数を占める。遺伝子配列の比較から2つのグループ、ゲノグループI(G1)、ゲノグループII(G2)に分類されている。
ロタウイルス(A群)	1月初旬からインフルエンザより先に乳幼児の間で流行し、生後6ヵ月から2歳までが好発年齢で重症化し易い。
ロタウイルス(C群)	主に3歳以上の年長児や成人にみられ、春から夏にかけて比較的多く、A群のような大規模な流行は殆どない。
アデノウイルス(40/41型)	主に3歳未満の乳幼児にみられ、この年齢層の感染性胃腸炎ではA型ロタウイルスに次いで多い。通年性であるが、夏期にやや多いこと、比較的軽症で発熱が少ないことがA群ロタウイルスとは異なる。
アストロウイルス	主に乳幼児に散発性の急性胃腸炎を起こすが、成人や老人施設で流行することもある。冬季に発症するが、一般に軽症で嘔吐や発熱も少ない。
別検査項目	ノロウイルスと同じカリシウイルス科に属し、乳幼児のウイルス性嘔吐下痢症の数%から検出される。食中毒などの集団発生を伴うこともあるが、ノロウイルスと比べ非常に少ない。予後は比較的良好。
サポウイルス	

注) サポウイルスについては同時測定できませんので、別項目のサポウイルスRNA(依頼コードNo7913)をご利用下さい。

裏面に続きます



株式会社ビー・エム・エル

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

TEL 049(232)3131 FAX 049(232)3132

URL: <http://www.bml.co.jp>

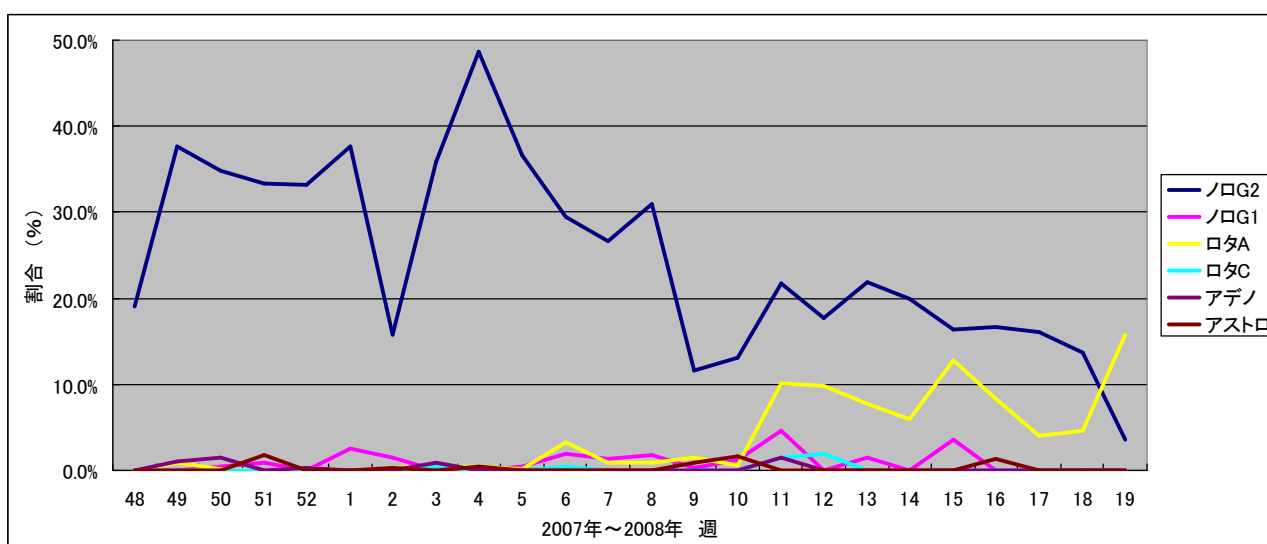
資料、お問い合わせは担当者または最寄の営業所までお願い致します。

アッセイ検体数および陽性検体数(月別:件)

	測定検体数	陽性数					
		ノロG2	ノロG1	ロタA	ロタC	アデノ	アストロ
2007年12月	1439	494	4	5	0	12	4
2008年1月	1486	501	8	5	2	4	2
2008年2月	1056	263	14	16	1	0	3
2008年3月	470	86	9	24	3	2	3
2008年4月	105	19	2	10	0	0	0

(社内データ)

陽性検体のアッセイ数に占める割合(週別:%)



(社内データ)

受託要領

項目名	必要量 容器 保存方法	測定方法	基準値	所要日数	検査実施料/ 判断料	定価
ノロウイルスRNAマルチ (依頼コードNo375)	糞便-小指頭大 液状便-1~2ml F-9(ノロウイルス検 査専用採便管) 絶対凍結	リアルタイム PCR法	(-)	3~6日	未記載	20,000円

関連項目

サポウイルスRNA (依頼コードNo7913)	同上	リアルタイム PCR法	(-)	7~10日	未記載	20,000円
ノロウイルス抗原/EIA (依頼コードNo1218)	同上(容器のみF-1)	EIA法	(-)	2~5日	未記載	3,500円